

2016年 1月28日

各 位

「第5回ごみと水を考える集い」呼びかけ団体代表

藤前干潟クリーン大作戦実行委員会

実行委員長 坂野 一 博

<呼びかけ団体>

土岐川・庄内川源流森の健康診断実行委員会、藤前干潟クリーン
大作戦実行委員会、四日市ウミガメ保存会、22世紀奈佐の浜プ
ロジェクト委員会、NPO 法人土岐川・庄内川サポートセンター

「第5回ごみと水を考える集い」の実施概要と採択アピールの送付

時下、益々ご清祥のこととおよろこび申し上げます。

さて、私たちは、去る1月24日に標記「第5回ごみと水を考える集い」（正式名称：第5回藤前干潟 伊勢・三河湾のごみと水を考える集い）を清須市西枇杷島町北枇杷池の「清須市庄内川水防センター」において、愛知、岐阜、三重、三県の市民団体等26団体と9行政部署70名が集い開催しました。この集いには、お忙しい中、河村たかし名古屋市長、永田真人愛知県河川課主幹(大村秀章愛知県知事代理)、常富豊環境省中部地方環境事務所統括自然保護企画官、石川博基国交省庄内川河川事務所長の四方がご来臨いただき激励のご挨拶を頂きました。

「集い」では、基調講演に、四日市大学環境情報学部教授の千葉賢さんに「伊勢湾の漂着ごみの研究」と題して、伊勢湾に流れ込む漂着ごみの実態や動き、漂着量の試算など漂着ごみの研究結果を講演して頂きました。5団体事務局の4年間の活動をまとめた基調報告に続いて、4市民団体から特別報告がありました。このあと、休憩を挟んで、初めての取組として3分散会に分かれて、参加市民団体の活動報告と官民の参加者全員でワークショップを行いました。まとめの全体会では、3分散会の座長から、分散会報告がなされ「第5回ごみと水を考える集いからのアピール」を採択しました。

恒例の「シシ汁交流会」は、庄内川最上流の恵那市のシシ肉のシシ汁、藤前のお米のおにぎりと漬物を美味しく頂きながらのなごやかな交流会となりました。

採択した「アピール」と当日の概要を紹介したチラシを送付します。

引き続き、ごみを出さない流域創りをめざした取り組みを共に推し進めましょう。

問合せ・連絡先 〒452-0000 愛知県清須市西枇杷島北枇杷池15-1

清須市庄内川水防センター内

藤前干潟クリーン大作戦実行委員会事務局（鈴木康平）

090-8421-1037

「第5回ごみと水を考える集い」は 河川財団河川整備基金、あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 の助成を受けて実施しました。